

# さくらの花だより

豊中市教育委員会  
学校教育課計画係  
令和4年(2022年)12月  
NO. 18

## 庄内さくら学園開校に向けた 児童生徒交流・説明会開かれる

12月2日(金)に、「庄内さくら学園開校に向けた児童生徒交流・説明会」が実施されました。この日は、市内において小学校6年生が中学校に出向き交流会をもつ「小中交流会の日」として設定されていました。しかし来春開校する「庄内さくら学園」にとっては、小中交流会という位置づけではなく、この日を来年度庄内さくら学園に通う児童生徒の交流及び学校の説明をする日としました。

小学校4~6年生は、庄内さくら学園中学校体育館に集まり、中学校生徒会との交流を含めた形でもたれ、最初に江原校長より学校概要の説明がありました。「庄内さくら学園は義務教育学校となり、施設一体型の小中一貫の学校となること。校舎の建築状況や完成イメージを見る。63制から432制に変わり、みなさんが新567年生の第2ステージとなること。標準服の着用、授業時間が50分となり、定期テストが一部導入されること。そして自治活動である児童生徒会活動が本格的に始まり、部活動も希望者は一部参加できること」などを説明していきました。その後、中学校生徒会にバトンタッチされ、5年生より本格的に始まる児童生徒会(さくら会)についての話がありました。

はじめに3小学校の児童会から、この日のために準備してきた「さくら会のスローガン」の発表がありました。島田小学校からは「一人ひとりが主役となり」、庄内小学校から「つながりを大切にし」、野田小学校から「学年をこえて助け合える学園をつくる」と声をそろえての発表がありました。それが一つに重なって



「さくら会のスローガン」であるとの確認をして、中学校生徒会に渡されていきました。それを受けて、生徒会執行部から「さくら会の目標」「一人ひとりがさくら会の一員となること」「自治の力=自分たちの学校は自分たちでつくること」「専門委員会ニュースの話」「プルタブ回収・ダルニー奨学金の話」があり、最後に現中学校3年生より、「こんな学校にしてほしいとの思い」が語られていきました。

その後、部活動の紹介ビデオ(運動部=10、文化部=4)をみて終えていきました。

また小学校1年~3年生はそれぞれの小学校体育館に集まり、「庄内さくら学園はどんな学校?」と「校舎の現在の様子及び完成イメージやどんな遊具が入るのかを見る」「63制から432制にかわり、第1ステージとなり、特に新4年生(現3年生)は第1ステージのリーダーとなり、集団登校をすることなど」を庄内・野田小学校は鶴教頭、島田小学校は堀江先生から説明がありました。校舎内のようすや体育館・教室等の写真や遊具の写真が出るたび、大きな歓声があがっていました。



なお中学校1,2年生も、上記と同じように江原校長からの説明及び生徒会執行部からの話をもとに、「庄内さくら学園の説明会」をもちました。

## 庄内さくら学園中学校で「さくら」の人文字

庄内さくら学園中学校は今年度末をもって終了し、義務教育学校「庄内さくら学園」に引き継がれます。そこで、中学校としては最終年度となることを記念して「ドローンによる人文字」の撮影が12月1日(木)に実施されました。庄内地域は飛行機の着陸コースとなっているため、ドローンの高度には限度があるとのことで、様子を見ながらドローンを飛ばしての撮影となりました。当日は、天気も良く「さくら」の文字が見事に浮き上がっていました。

